【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年11月21日(2024.11.21)

【国際公開番号】WO2023/182448
【出願番号】特願2024-509227(P2024-509227)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 57/04(2010.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 57/04 Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月20日(2024.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動力伝達機構を収容するケースと、
前記ケース内で、底壁部に対向配置されたストレーナと、
前記ストレーナにおける前記底壁部との対向部に設けられたオイルの吸入口と、
前記ケース内で、前記底壁部と前記ストレーナとの間に配置された磁石と、を有し、
前記ストレーナと前記底壁部との対向方向から見て、前記磁石と前記吸入口は、位置をずらして設けられており、
前記吸入口は、前記磁石側に開口を向けて設けられている、動力伝達装置。
【請求項２】
請求項１において、
断面視において、前記吸入口の開口面は、鉛直線に対して傾斜しており、
前記吸入口は、前記磁石側の端部が、反対側の端部よりも前記底壁部から離れた位置に配置されている、動力伝達装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、
前記底壁部には、前記ストレーナ側に膨出した膨出部が設けられており、
前記対向方向から見て、前記磁石と前記吸入口との間に前記膨出部が位置している、動力伝達装置。
【請求項４】
請求項３において、
前記ケースは、隣接する他のケースとの接合部に、ボス部を有しており、
前記動力伝達装置の回転軸方向から見て前記膨出部は、前記ボス部の延長上に位置している、動力伝達装置。
【請求項５】
請求項３において、
前記対向方向において前記吸入口は、前記膨出部とオーバーラップしている、動力伝達装置。
【請求項６】
請求項３において、
前記動力伝達装置の車両への設置状態を基準として、前記吸入口は、車両後方側を向いて開口しており、

前記車両の前後方向において前記吸入口は、前記膨出部とオーバーラップしている、動力伝達装置。
【請求項７】
請求項３において、
前記底壁部における前記膨出部が設けられた領域の外周は、開口を外側に向けた凹部となっている、動力伝達装置。
【請求項８】
請求項３において、
前記ケースは、当該ケース内の空間を前記動力伝達装置の回転軸方向で隣接する第１室と第２室とに区画する隔壁部を、有しており、
前記隔壁部には、前記第１室と前記第２室を連通させる連通孔が設けられており、前記対向方向において前記ストレーナは、前記隔壁部とオーバーラップしている、動力伝達装置。
【請求項９】
請求項１において、
前記ストレーナは、樹脂材料で形成されており、
前記ストレーナでは、前記底壁部との対向部に、前記磁石の取付部が一体に設けられている、動力伝達装置。
【請求項１０】
ケース内で、底壁部に対向配置されたストレーナと、
前記ケース内で、前記底壁部と前記ストレーナとの間に配置された磁石と、
前記ケースの下部に貯留されたオイルを、前記ストレーナを介して吸引するオイルポンプと、を有する油圧装置であって、
前記ストレーナは、前記底壁部との対向部にオイルの吸入口を有しており、
前記ストレーナと前記底壁部との対向方向から見て、前記磁石と前記吸入口は、位置をずらして設けられており、前記吸入口は、前記磁石側に開口を向けて設けられている、油圧装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の他の態様は、
ケース内で、底壁部に対向配置されたストレーナと、
前記ケース内で、前記底壁部と前記ストレーナとの間に配置された磁石と、
前記ケースの下部に貯留されたオイルを、前記ストレーナを介して吸引するオイルポンプと、を有する油圧装置であって、
前記ストレーナは、前記底壁部との対向部にオイルの吸入口を有しており、
前記ストレーナと前記底壁部との対向方向から見て、前記磁石と前記吸入口は、位置をずらして設けられており、
前記吸入口は、前記磁石側に開口を向けて設けられている、油圧装置である。